

特定ティーンTRIPLE P

特定ティーンTRIPLE Pとは？

大体においては子育てがうまくいっているが、1~2の心配事がある親（20~200名）に向けての「軽いタッチ」の子育て情報のプレゼンテーションです。3つのトピックがあり、各トピックにかかる時間は約60分の発表に加えて、質疑応答が約30分です。特定ティーンTriple Pセミナーシリーズは、Triple Pの手法への簡潔な導入を目的として作成されています。親やその他の養育者の方が家庭に持ち帰り実践できる効果的なアイデアを提供します。

対象者は？

高校生までの年齢層のティーンエイジャーのいる親または養育者で、ティーンエイジャーの成長を促す一般的な情報に関心のある方が対象です。セミナーシリーズは、十代の子どもの行動に関する具体的な心配事についても親をアシストできます。著しい行動の問題や深刻な家庭内のストレスによって問題が複雑になっていない家庭には特に効果があります。このプログラムは、さらに集中した支援にアクセスする家庭に対してティーンTriple Pの手法を紹介する目的でも役に立ちます。

セミナーで紹介される内容は？

セミナー1：責任感のあるティーンエイジャーを育てる

ティーンエイジャーが責任感を持つための6つの主要な要素を紹介します。また、以下のスキルをどのように子どもに教えたり促したりできるかについて、具体的なアイデアを親に紹介します：

- ・ 家庭の意思決定に参加する
- ・ 礼節と思いやりがある
- ・ 家族の活動に参加する
- ・ 健康的なライフスタイルをつくる
- ・ 信頼がおける人である
- ・ 適切に自分の意見を表現する

セミナー2：能力のあるティーンエイジャーを育てる

ティーンエイジャーが自信を持ち、学校や地域で成果を出せるようになるための6つの要素を紹介します。以下の要素を子どもに教えたり促したりするための具体的なアイデアを親に紹介します：

- ・ 自律性を養う
- ・ よい習慣を確立する
- ・ 学校の活動に参加する
- ・ 問題解決上手になる
- ・ 学校の規則を守る
- ・ 支えとなる友だちを持つ

セミナー3：ティーンエイジャーの人間関係を助ける

ティーンエイジャーが支えとなる友人関係を築き、広い地域で適切な社交や余暇のグループや活動に参加するようになるための様々な要素を紹介します。以下のスキルを子どもに教えるための具体的なアイデアを親に紹介します：

- ・ 自信がある
- ・ 社交スキルがある
- ・ 前もって計画する
- ・ 約束を守る
- ・ 交流し続ける
- ・ 他人を思いやる

プログラムの実施に必要な時間は？

各セミナーにかかる時間に加えて、支援者にはセミナーの準備やスーパービジョンにかかる時間も必要です。以下の表にある各セミナーにかかるおよそその時間のガイドラインをご覧ください。

プレゼンテーション	1.5時間
セミナー前後の調査—アンケートのスコアリングとフィードバック*	なし
電話でのサポートまたは家庭訪問	なし
セミナーの準備、セミナー後の振り返りやスーパービジョン	1.5時間
実施の記録、報告書作成**	なし
時間の合計	各セミナー3時間

*プログラム終了時に記入される親の満足度調査（CSO）を振り返る時間として、参加家庭につき2~3分の時間が必要。

**行政機関などへの包括的な報告書の時間は含まれていない。

親に提供される教材は？

各参加家庭には、出席したセミナーに対応したティーンTriple Pセミナーシリーズチップシートが提供されます。Triple Pが継続業務の一部として使用される際に必要とされるプログラム教材の見積もりについて、以下の表をご覧ください。

1年に行われるプログラムの回数	6回（3つのトピックを2回ずつ）
プログラム1回に参加する家庭の数	各セミナー50家庭
各家庭に提供される教材の数	各セミナーにつきセミナーチップシート1部
参加家庭の総数	300家庭
1年に使用される教材の総数	チップシート300部（各トピックにつき100部）

プロバイダトレーニングの内容は？

特定ティーンTriple Pを親に提供するために、支援者は決められたアクティブなスキルトレーニングプログラムを修了し、スキルベースの認定プロセスを通してプログラム実施に必要な知識と能力を実演する必要があります。以下の表は、支援者が養成講座やサポートに参加するために必要な時間と共に、実施の準備やピアサポートに必要な時間の概算です。

養成講座にかかる日数（1日8時間）	2日
認定前ワークショップ（1日8時間）*	1日
認定試験の準備に要する時間	4~6時間（クイズの回答と技能試験の準備）
認定試験	半日
ピアサポート	2~3時間（各月）
合計時間	5日

*認定前ワークショップは、日本での公募形式の養成講座には適用されません。

養成講座の参加条件は？

他のTriple P養成講座を受講していることは参加条件ではありません。実施機関は、さらなる支援（他のTriple Pプログラム）を必要とする家庭に対する適切な紹介プロセスを確立していることが前提です。



プロバイダー養成から学ぶことは?

- ・効果的なセミナーシリーズの企画調整
- ・セミナーシリーズの実施
- ・前向き子育てと行動変容に関する主要な原則
- ・子どもの発達を促す前向き子育ての具体的な手法
- ・親の質問への応答

支援者に提供される教材は?

養成講座では、以下のTriple P支援者向け教材が1部ずつ各参加者に提供されます：

- ・特定ティーンTriple Pファシリテーターキット（ファシリテーター・マニュアルとティーンセミナーシリーズパワーポイントプレゼンテーションCDを含む）
- ・ティーンTriple Pチップシートシリーズ—セミナーシリーズ（各セミナー用のチップシートを含む）



Triple P | 特定ティーン

Copyright © 2019 Triple P International Pty Ltd